

大雨の時に下水が逆流？

下関市の公共下水道は、汚水と雨水を別々に流す「分流式下水道」で整備しています。そのため、本来大雨の時でも下水が逆流したり溢れたりすることはないはずですが。

しかし、実際は下水が逆流することがあります。

原因として考えられるのが、①下水道管の破損 ②マンホール蓋（隙間）

③宅地内の排水設備からの雨水の流入が大きな要因と考えられます。

①、②については個人では対策は難しいですが、③については個人でも対策ができる場合があります。

宅地内の排水設備について、雨水の誤接続や屋外の流し等（下水道に接続されているもの）から雨水が流れ込むことがあります。一般的に宅地内の下水道管は大きくても直径10cm程度です。そこに雨水が大量に流れ込むとトイレの水等が流れにくい・ゴボゴボ音をする・逆流するといった現象が起こります。

下水が逆流しないようにするためにも、雨の時は屋外の流し等から雨水が入らないよう栓をしておきましょう。栓がないときには次で説明する「水のう」で栓をすることも有効です。



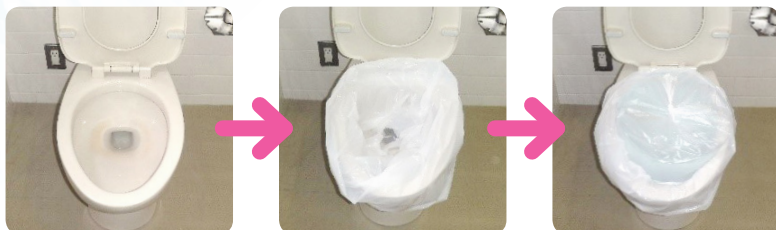
下水が逆流しないための対策

個人でできる対策の一つに「水のう」があります。スーパーの袋やごみ袋（2重にすると安心です）に1/3から半分程度水を入れ、空気を抜いてしっかり結びます。それをトイレや排水口に置くとある程度の逆流を防ぐことができます。



「水のう」の使用例

① トイレ

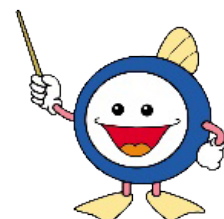


※直接便器に入れてもいいですが、便器に袋をかぶせ、その上から水のうを入れると使用後の処理が容易です。

② 洗濯機



※洗濯機からのホースを抜いたほうが効果が高いです。



水の四字熟語 掲載終了のお知らせ

いつも水の情報誌「ウォータートーク」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

第10号から長きにわたり掲載しておりました「水の四字熟語」ですが、第62号をもちまして終了することとなりました。

これまでのご支持に心より感謝申し上げます。連載終了後も、様々な特集で皆さまに喜んでいただけるよう努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

最後に、「水の四字熟語」を楽しんでいただきました読者の皆さま、そしてご協力いただいた石川先生に、心より感謝いたします。今後の情報誌もどうぞ楽しみに。